

林業普及指導員の「木材利用推進」情報

■北海道（総合）振興局森林室に勤務する林業普及指導員からの情報です

「地材地消」バスツアーinしりべしの開催！

後志総合振興局森林室普及課

【取組の目的】

道では、平成22年度に施行された「公共建築物木材利用促進法」に基づき、平成23年3月に「北海道地域材利用推進方針」を策定し、各市町村においても推進方針の策定を働きかけ、公共施設等での地域材利用を推進しています。

後志管内では、岩内町において初めて木造道営住宅が建築されるため、建築関係者に地域材利用の普及PRを目的とし、川上（山林）から川下（地域材利用建築物）まで視察する『「地材地消」バスツアーinしりべし』を開催したので紹介します。

【バスツアーの概要】

- 開催日：平成24年7月30日（月）
- 開催場所：京極町・岩内町
- 主催：北海道林業・木材産業対策協議会
共催：北海道（建設部、水産林務部、後志総合振興局）
- 参加者：建築関係者、林業関係者等62名
- 内容

①人工林の視察（京極町）

テーマ：山づくりの現状について

- ・グイマツ雑種F₁ 長伐期大径材生産林分視察
 - 佐々木指導林家所有林
 - 面積・林齢：0.34ha・29年生
 - ha当たり本数・蓄積：512本・264m³/ha

②地域材利用セミナー（京極町）

テーマ：カラマツを建築用材として使っていくために

- ・後志産カラマツの強度試験結果について
講師 道総研林産試験場 技術部
生産技術グループ 松本主査（加工）

③製材工場の視察（京極町）

テーマ：「ようていカラマツ」のブランド化の取組について

- ・ようてい森林組合製材工場視察
＜平成23年度取扱量＞
 - カラマツ梱包材 3,217m³
 - 集成材ラミナ 3,446m³
 - その他土木用杭等 758m³

④道産木材を利用した木造公共建築物の視察（岩内町）

- テーマ：新たな木造道営住宅の取組について
- ・岩内町道営住宅構造見学＜H24建築＞
 - 6棟20戸（延べ床面積 1,520m²）

表-1 道産木材使用量（予定）

部 材	調達地区	使用量（m ³ ）
構造用集成材（カラマツ）	十勝	36
その他構造材（トドマツ）	空知	60
構造用合板（カラマツ）	オホーツク	62
下地材（トドマツ）	空知	162
計		320

【取組の成果】

バスツアーでは、川上から川下までの流れを視察したことで、後志管内における地材地消を推進する上での課題等について、参加者相互の情報共有が図られました。



梁はカラマツ集成材

【今後の取組】

今後は一般住民等を対象にしたツアーを開催し、建築物に木材を使用するメリットや、地材地消の意義などについて周知を図り、地域材の利用促進を図ります。



①グイマツ雑種F₁人工林



②地域材利用セミナー



③ようてい森林組合製材工場



④木造道営住宅構造見学